

# (e)po(c)ca

静岡県男女共同参画センター・あざれあ情報誌

エポカ vol. 124

2017年 2月号

きっと見つかる！あなたのワーク・ライフ・バランスを応援してくれる企業！

時間外労働を積極的に削減！仕事も家庭もスマートに両立！

仕事へのやりがいが持てるワーク・ライフ・バランスの推進！

男女共同参画社会づくり  
宣言事業所・団体

## 企業ガイダンス

平成29年

開催日

3月13日月 13:00～17:00  
(受付 12:00～)

場 所

グランシップ 10階 1001

静岡県コンベンションアーツセンター JR東静岡駅南口から徒歩約3分

対 象

静岡県内で就職を希望する大学、大学院、短期大学、専門・専修学校の  
全学年の学生

事前予約不要、入退場自由です。金融・サービス・製造・医療・福祉・行政機関など幅広い業種の  
38社が集まります。ぜひ、御参加ください。

参加企業などの詳しい情報は 静岡県男女共同参画課 ホームページを御覧ください。

主催：静岡県くらし・環境部 県民生活局 男女共同参画課 (TEL: 054-221-2824)

草野 智洋さん（静岡福祉大学准教授／静岡県ひきこもり支援センター スーパーヴァイザー）



### ★男性特有の生き辛さ

ひきこもりの7割以上は男性という調査結果があります。考えられる理由のひとつは、女性よりも男性のほうが、学歴や就労への期待といった社会参加のプレッシャーが大きいことです。女性の場合は、仕事をしていなくても「主婦」や「家事手伝い」として社会的に容認されやすい環境があります。一方で、学校を卒業して働いていない男性に対しては「無職」や「ニート」といった否定的なラベルが貼られることが多く、「学校→就職」というレールから外れた多様な生き方が許容されにくい面があります。

たとえ学校にも行かず仕事もしていないくとも、堂々と自分の好きなことをして人と関わって暮らすことができれば、自宅にひきこもる必要はありません。しかし現実には、学校生活や職業生活に失敗すると、多くの人が周囲からの視線や自己評価に耐えられなくなり、ひきこもってしまうことになります。

また、「援助要請行動」と言って、誰かに相談に行くなどのSOSを求める力は、一般に女性のほうが男性よりも高いと言われています。男性には「男は弱音を吐かない」、「男はこうあるべき」という文化的な規範の影響や、それを内在化したプライドの高さがあり、誰にも助けを求められずにひきこもるという行動をとりやすいと考えられます。

一方で気をつけておかなければならないことは、たとえ「ひきこもり」というラベルが貼られないくとも、ひきこもりと同じような心理的な生き辛さを感じている女性は存在しているということです。ひきこもりは男性の問題というイメージが強くなりすぎることによって、このような女性の生き辛さが理解されなくなることのないよう、気をつけておく必要があります。

### ★生きる意味とひきこもり

現在のひきこもり支援における課題は「高年齢化」です。ひきこもり状態が長期化し、当事者が40代以上になってくると、どこかに雇われて就職するということは非常に難しくなります。心理的には「働き」「働きたい」という前向きな気持ちが生まれたとしても、社会的にはそのような人を受け入れてくれる職場がどれだけあるでしょうか。

ロゴセラピーという心理学の考え方では、人間にとて最も重要なことは、自分が生きることの意味を見出すことです。もしも、ひきこもり状態にあっても自分が生きることの意味を実感できるのであれば、それで問題はないかもしれません。しかし、ひきこもり状態にある人は、自分が仕事をしていないことや社会の役に立っていないことによって、自分など生きていても意味がないと感じてしまいがちです。

働くことや何かを産み出すことは、確かに最も典型的に生きる意味を実感できる方法です。しかし、それ以外にも生きる意味を感じることはできます。それは、自然や芸術や人とのつながりなど、何かを体験することです。経済的な観点から見ると、働くことは生産にあたり、体験することは消費にあたることが多いでしょう。「働く者、食うべからず」という風潮の中で、働くことのできない人は後ろめたさを感じ、消費という形で社会と関わることからも撤退してしまいがちです。しかし、それではますます自分が生きていることの意味を実感することが難しくなり、ひきこもりから脱却しようという前向きなエネルギーは生まれてきません。生産という形で社会と関わることができないのであれば、まずは消費という形で社会と関わり、少しづつでも生きることの意味を感じられるようになってくるなかで、ひきこもり状態からの回復のプロセスが始まっています。

ひきこもり状態だった人が突然働き始めることができれば、問題は一気に解決です。しかし、できないことをやろうとしてできないと落ち込んでいるだけでは意味がありません。支援者も家族も当事者も、大切なことは現実にできる行動の選択肢の中から何を選択するかです。ひきこもりという複雑な問題に特効薬はありません。焦らず慌てず諦めず、できることを一つずつやってていき、一步ずつ進んでいきましょう。

### 「ねっとわあく」編集員募集！

「ねっとわあく」とは・・・これから男女共同参画社会づくりを担う世代をターゲットとした情報誌です。

【仕事内容】情報誌「ねっとわあく」（年1～2回発行）の企画、取材、原稿の作成・編集から発行まで

【募集人数】若干名 【打合せ場所】静岡県男女共同参画センターあざれあ

【募集締切】平成29年4月10日（月）まで

【応募書類】応募用紙（ホームページからダウンロード）、作文「私のつくりたい男女共同参画情報誌」（1000字以内）

【その他】1号発行につき謝礼3万円、打合せや取材時の交通費支給

【問合せ】NPO法人 あざれあ交流会議 TEL：054-250-8147 e-mail：info@azarea-navi.jp



## 『～果てしない孤独～

## 独身・無職者のリアル

(関水徹平・藤原宏美 扶桑社 2013年)

20～59歳までの仕事もなく、結婚もせず、家族以外との接点がない「スネップ」は、推定約162万人と言われます。彼らの社会的背景や潜在的なスネップの実態についてとりあげ、どうすれば支援できるのかを考えます。



## 『定年夫は、なぜこんなに「じゃま」なのか？』

(西田小夜子 ソニー・マガジンズ 2004年)

定年後何もすることがなく、日がな一日、パジャマ姿でテレビを見ている「みのむし」みたいな夫。妻が心身症を病んでから、原因が自分だということに気づいても遅いのです。定年後の男性をひきこもりにさせない・ならない方法がわかります。



## 『ひきこもる女性たち』

(池上正樹 KK ベストセラーズ 2016年)

「ひきこもり」の公的調査には、主婦や家事手伝いは含まれていません。実際にはひきこもり状態であっても、助けの声をあげられず、つながりたくてもつながれない女性たち。“見えない存在”とされてきた彼女たちの実態に迫ります。



## 『世界一やさしい精神科の本』

(斎藤環・山登敬之 河出書房新社 2011年)

第2章でひきもこりについてとりあげ、不登校になったらどうするか、なぜ日本にひきこもりが多いのかなどをわかりやすく説明し、人とつながることがいちばんの薬と伝えます。中高生向けですが、大人の教養書としてもおすすめです。



## 図書室利用案内

貸 出：図書5冊、ビデオ・DVD2本（2週間）  
開室時間：月～金 9:00～18:00 土日祝 9:00～17:00  
休 室 日：第1・3・5日曜日、図書整理日（3/31）  
TEL：054-255-8763 / FAX：054-255-8759

男女共同参画社会づくり  
宣言事業所・団体

## (株)第一印刷（浜松市）

宣言事業所・団体 1,478件  
(平成29年1月30日現在)

## ●子連れ出勤を奨励・キッズルームを設置

浜松市東区に本社を置く(株)第一印刷は、地元企業のパンフレットや伝票の印刷をはじめ、荷札のデザイン、印刷、加工を行っている。荷札印刷のシェアは日本トップクラスだ。現在、全社員22人中15人が女性社員と、70%近くを女性が占める。ほぼ9割を男性が占める印刷業界では珍しい。また、工場長や営業課長などの役職にも女性を登用。女性だからといって、男性のサポート的な業務しか担うことができないのではなく、やる気・能力に応じて男女の区別なくあらゆる仕事にチャンスが開かれている。

本年度、男女共同参画社会づくりのための先駆的な取組みが評価され、知事褒賞を受賞した。子育て中の女性を積極的に採用、社内にキッズルームを設け、子連れ出勤を奨励し、子どもを見ながら仕事ができる環境を作ったほか、年2回実施する個別のヒヤリングを通して、社員の家庭状況や本人の希望を聞き、個々の勤務時間や仕事内容を調整。出産など女性ならではのライフイベントに配慮した仕組みづくりを充実させている。

## ●会社は社員とその家族の幸せのためにある

社長の田中一兆さんは、印刷屋を営む両親のもとで育った。幼い頃から営業まわりをしている母親の姿を見ていたため、女性が働くことに違和感を持っていない。むしろ、社会にある男の仕事・女の仕事という先入観に疑問を持ってきた。

母親が一生懸命働き、家事をする姿を見てきた記憶が、現在、子どもを育てながら働く女性社員の姿と重なる。こうした子どもの頃の経験が、今の田中社長の経営理念に大きく反映されている。



子連れ出勤中



田中一兆社長

「社員が当社で働くことで、その社員と家族が幸せになってほしいと心から願うことが、さまざまな就労環境、制度の整備に繋がっています。社員が幸せになる仕組みのひとつが第一印刷で、それを取り組むのが顧客なのだと考えています。ひとは幸せな生活を過ごすために働くのです。社員ひとりひとりが、やりがいを持ってイキイキと働きつつ、私生活とのバランスを取って、幸せな人生を送るためにどうしたら良いのかと考えています。女性が活躍できる場を作るためには、少子化や労働者不足などの社会の要請からではなく、ひとりひとりの女性の幸せを考えることからはじまるのだと思います。」

# シングルトーク・カフェ

より自分らしく生きていくために、お互いの悩みや思いを分かち合う、シングルマザーのカフェ・タイム！

2  
18

土 13:00 ~ 15:00

会 場：静岡県男女共同参画センター あざれあ  
3F 生活関連実習室  
対 象：子育て中のシングルマザー  
会 費：無料

託 児：無料（託児室・特設子ども室あり）  
申込み：静岡県男女共同参画センター交流会議  
静岡市駿河区馬渓1-17-1  
TEL：054-250-8147 FAX：054-251-5085  
e-mail：seminar1@azarea-navi.jp

## 地元のハンサムウーマン⑦～地域力を高める女性たち～



岸 香代子さん

### 岸 香代子さん（国際ソロプチミスト伊豆天城 / 伊豆の国市）

#### ●根っからのボランティア精神が息づく

国際ソロプチミスト（SI）は、約130カ国に8万人の会員を有する女性の奉仕団体で、日本では各地域のクラブに分かれ、それぞれの地域と世界で女性と女児の生活向上のために活動している。

SI伊豆天城は、1994年に発足、今年創設23年目となる。この22年間で、ホンジュラスに中古車椅子103台を寄贈、冷害被害の際にモンゴル小学校へ黒板寄贈などの支援のほか、地域の女子中高生を海外に派遣させ国際親善を図ったり、DV被害女性の調査・支援をしたりするなど、さまざまな視点から女性と女児がよりよい生活を送るために何ができるのかを各委員会メンバーで方針を決めながら活動を進めている。

昨年度までSI伊豆天城会長を務めた岸香代子さんは、約45年前に数年の予定で東京から当時の韮山町（現：伊豆の国市）に移住した。移住当時、地域に幼稚園がなく、保育所も長時間保育がなかったので、幼い子供を抱えて仕事をする女性たちは苦労していた。岸さんは仲間と共に行政に掛け合い、公立幼稚園設立や有料時間外保育の実現に協力した。

以来、PTA、ボースカウト、国際交流協会、人権擁護委員、女性の会などさまざまな機会で活動してきた。伊豆の国市合併前の韮山町国際交流協会では、韮山町内及び近隣市町在住の外国人を対象に日本語教室を立ち上げたほか、地域在住外国人のそれぞれの特技・スキルを活かした外国語講座、料理教室なども実施した。そのほか、地域の環境・福祉に関わる問題を中心に、活動の幅を広げてきた。

さまざまな活動をしてきた中で、次世代へのバトンタッチの難しさを感じてきた。女性の会など役員のなり手がなく、解散せざるを得ないこともあった。しかし、団体を無理に存続させるのではなく、解散すべき時は解散し、意識を持った若い人たちが、時代のニーズに沿った活動を新しい形で始めていくことも必要だと考える。

現在は、4月に行われる次期伊豆の国市議選に女性立候補を擁立しようと力を注いでいる。小野市長をはじめ、老人会やPTAにも女性の会長が出てきて、この地域にも少しづつ男女共同参画が浸透し始めたと感じる中、まちづくりに志を持った女性を応援することで、地域に貢献したいという思いが岸さんを動かしている。

## あざれあ相談

悩んだとき、困ったときには「あざれあ」へ

### 〈女性相談〉

すべて女性の相談員、医師、弁護士による相談です。安心してお電話ください。

0558-23-7879 賀茂

055-925-7879 東部

054-272-7879 中部

053-456-7879 西部

※混み合う場合がございます。  
時間をあけておかけ直しください。

月・火・木・金 9:00 ~ 16:00

水曜日 14:00 ~ 20:00

第2土曜日 13:00 ~ 18:00

※いずれも日・祝を除く

面接

要予約・託児つき・無料

あざれあ女性電話相談の番号におかけください。

月	火	水	木	金
DV・ その他暴力	偶数月第4 精神科医相談	DV・ その他暴力	DV・ その他暴力	奇数月第3 精神科医相談
10:00~15:00	14:00~16:00	14:00~19:00	10:00~15:00	14:00~16:00

第1・第3  
弁護士相談  
(離婚・相続等)

13:00~16:00

### 〈男性電話相談〉

生き方・家庭・仕事・健康等の悩み  
男性相談員が対応します。

054-272-7880

毎月第1・3土曜日 13:00 ~ 17:00

### 〈チャレンジ相談〉

「再就職したい」「起業したい」「NPOを作りたい」等

予約：054-221-3122

完全予約制 女性限定  
託児つき（無料）

偶数月第3土曜日実施：

①13:00 ~ ②14:00 ~ ③15:00 ~

奇数月第3水曜日実施：

① 9:30 ~ ② 10:30 ~ ③ 11:30 ~